

# 文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

**文理科学科1年生 宿泊研修 特集** “視野の拡大を図り、科学的な考え方を学ぶ！”

文理科学科1年生の宿泊研修が7月21日（水）から23日（金）に2泊3日の日程で実施されました。この宿泊研修は大学や研究機関などの見学や、社会の第一線で活躍されている専門家などによる講義や実習を通して学問研究に対する興味関心を高め、2年次に取り組む独自研究に係るテーマ選定の参考とする目的で実施しました。

第1日目 7月21日（水）

福知山高校を午前7時45分に全員元気に出発。最初に兵庫県三田市にある**沢井製薬工場**を見学しました。沢井製薬はジェネリック医薬品の製造販売で有名です。担当者の方から医薬品や工場の概要説明を受けた後、3班編制で工場の最新設備や製造過程を見学しました。

次に**神戸市立須磨海浜水族園**を訪れました。昼食後、水族園探検ツアーに参加し、大水槽やその裏側、魚のえさを準備する調餌室など普段見ることのできない水族園の裏側をツアーガイドの案内で見学しました。

最後に兵庫県佐用町にある**西はりま天文台公園**を訪問しました。夕食後、天文台に移動し、午後7時半より観望会に参加しました。係員の方よりその日見ることのできる星座の説明を受けたあと、公開用としては世界最大の2mなゆた望遠鏡を利用して土星や星雲などを観測しました。美しい星空にみんな感動しました。この日は天文台公園内にあるグループ用ロッジで宿泊しました。



12番 川尻 隆治 白糸中学校出身

沢井製薬では、いつもはCMで見える製薬会社の中を見ることができてよかった。初めてのキャップと白衣を着て工場見学したので、工場の製造過程をより身近に感じることができた。今回の見学で、薬を作るが故の徹底した管理がとても苦労するものだったし、ものすごい額の機械を見られて本当に良い経験ができたと思う。

第2日目 7月22日（木）



西はりま天文台公園から大阪方面へ移動。

最初に**大阪科学技術館**を訪問しました。館内のブースで企業や団体が工夫を凝らした展示を見たり、体力測定などを体験しました。また昼食後には、**武田薬品の藤澤美穂さん**による「がんとは何か？—抗がん剤とがん細胞の闘い」の講義を受講しました。

次に**大阪地方裁判所**を訪れました。広報官の方から裁判について説明を受け、その後班に分かれ、実際に裁判を傍聴しました。

最後にこの日の宿泊先である**新大阪ユースホステル**に到着しました。この施設は外国からの食泊客が多く、この日もカナダから日本を訪れていた青年と英語で交流しました。



26番 土手 都花沙 日新中学校出身

科学技術館では様々な面白い装置で体力測定ができました。バランス測定装置など難しいものもありましたが、判定は20歳で嬉しかったです。ガン細胞についての講演では、今まで知らなかったガン細胞発生の過程を教わり、すごく興味深く聴きました。特にガン細胞がもともとは普通の細胞で、それが細胞分裂のDNAの複製期に突然変異によってガン細胞へと変化していくことを知って驚きました。また、ガンの治療法で、薬剤療法は副作用が強いというイメージがありました。しかし、一概にそうだという訳ではなく、「分子標的治療薬」のようにガン細胞だけに標的を合わせられるので副作用が軽くて済む薬もあることがわかり、その薬にはもっと活躍してほしいと思いました。また、沢井製薬と違って武田製薬は特許のある新薬を売っているので、生産方法も20年程研究を続けるというやり方ですごく大変そうだと思いますが、より良い薬を発明するために頑張してほしいと思いました。

地方裁判所では実際の刑事裁判を初めて見ました。緊迫して張りつめた雰囲気の中で進められていく光景は、なんだか自分がドラマの中にいるようで、なかなか現実のことに思えませんが、確かにそれは現実なのだと思うと、ずっしりと重いものが心に落ちていく感じでした。

第3日目 7月23日(金)

いよいよ宿泊研修も最終日。  
大阪から京都に移動し、**京都大学**を訪問しました。

最初に**京都大学大学院経済学研究科博士課程**に所属する大学院生の方の講演を聞きました。「大学入試に向けて必要なこと」「大学と大学院の違い」「論文執筆について」など、今後の高校生活を充実させる大きなヒントを教えてくださいました。

次に**本校卒業生**による**キャンパスツアー**に参加し、先輩から京都大学の設備について説明を受けました。憧れの先輩から激励のメッセージを受け、その後先輩とともに学生食堂で昼食をとりました。



最後に**京都大学総合博物館**を見学しました。博物館では大野照文館長の話聞き、特別展「科学技術Xの謎」(X線についての展示)を京都大学物質-細胞統合システム拠点研究員の水町衣里先生の案内で見学しました。憧れの京都大学で1日過ごし、学習に対する意欲も増進しました。

19番 四方 かおり 豊里中学校出身

京都大学の現役の学生の講演をきくなんて、めったにない貴重なことだ。話の内容はとても丁寧で詳しく、大学に入る前のこと、入ってからのこと。なかなかきく機会がないようなことを話してくださり、とてもためになったと思う。また、文系のことが中心だったので、私にはとても興味深く、今後役に立つものだった。この3日間の研修ももちろん、今後役に立つことばかりだった。この3日で学んだことを進路選択に活かせるいいなと思う。卒業生と出会うというのはとても刺激なことだった。自分の学校の先輩が京大に行かれていると思うと、とても誇りに思えるし、私たちも頑張らないといけないと感じる。今後頑張って先輩に近付きたい。総合博物館では「10人京大に来てください。」と言われた。少し笑えるけど、そんなクラスってすごいなと思う。皆仲が良いし、やる時はやれるし、素晴らしいメンバーがそろっていると感じる。今回の宿泊研修では、お互いの仲を一層深めることができたのではないだろうか。私は、今まであまり話したことのない人と話せて、とても充実していたと感じる。この3日間で学んだことを無駄にせず、今後へとつなげていきたい。

この3日間の研修を通して身に付けた、事象を科学的に考察し、処理する能力が今後の学習・研究活動にいかされることが期待されます。